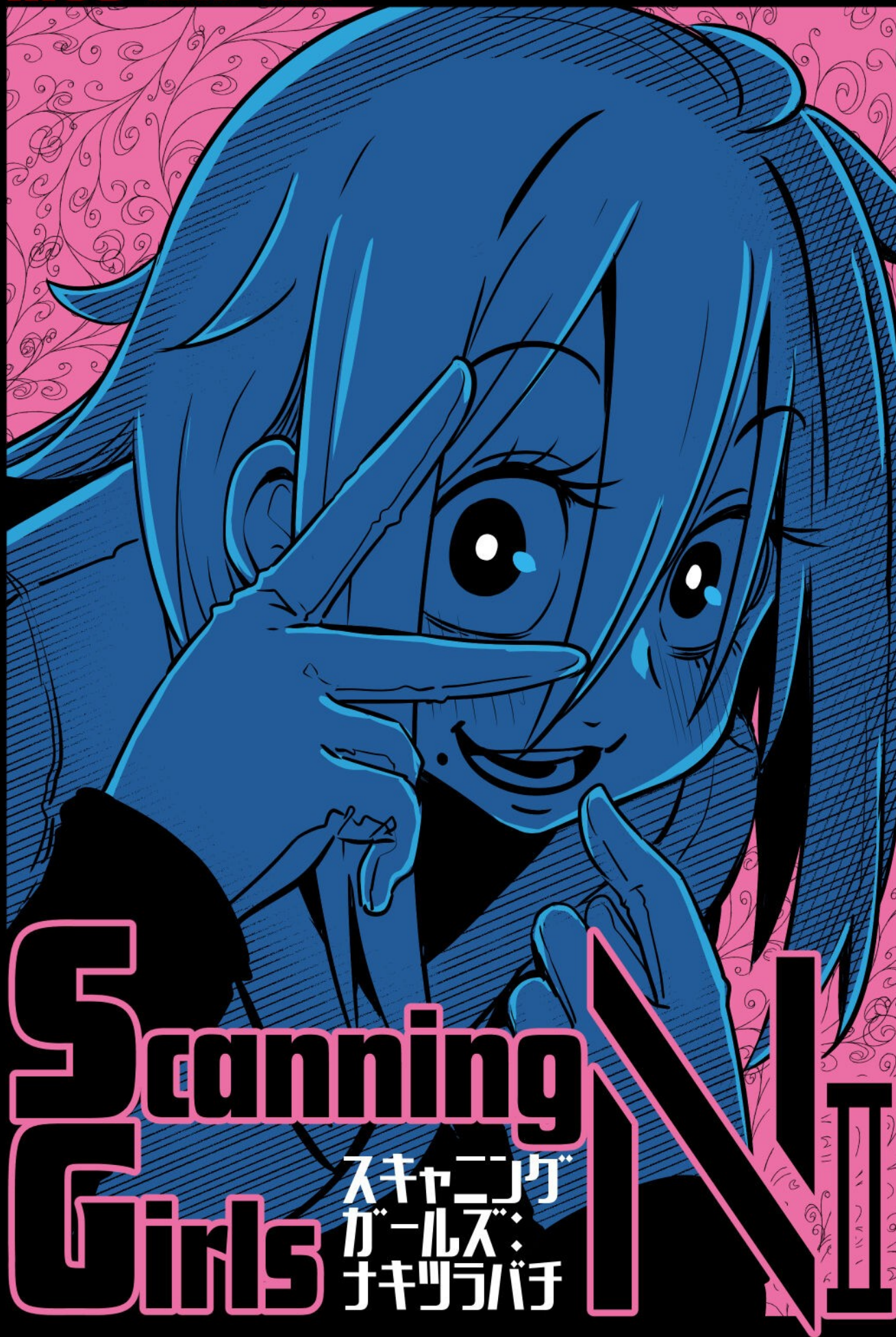


R18G ADULT ONLY



R18G ADULT ONLY



私たちの国はビンボウ人が多かった。

だからパパとママは私たちを国に売った。

家にいい思い出は無かった。

妹たちが罵られて殴られるのを見るくらいなら
売られた今のほうがまだマシだとさえ思った。



ご主人さまに3人とも
買われてからの生活は…

そして…

おかえりなさいませ

驚くほど幸せだった。



ああ、ただいま

やっぱり誰かが
出迎えてくれるって
いいわねえ！

私たちは
運が良かったんだと思う。
ご主人さまと奥さまは
本当に素敵な人だった。

だから私たちも
それに応えようとした



三女の「ミツバ」は
まだ仕事ができる
歳ではなかったけど
子供のいない
ご夫妻にすごく
気に入られた。

次女の「フタバ」は
掃除が得意だ。
奥さまにいつも
感謝されていた。

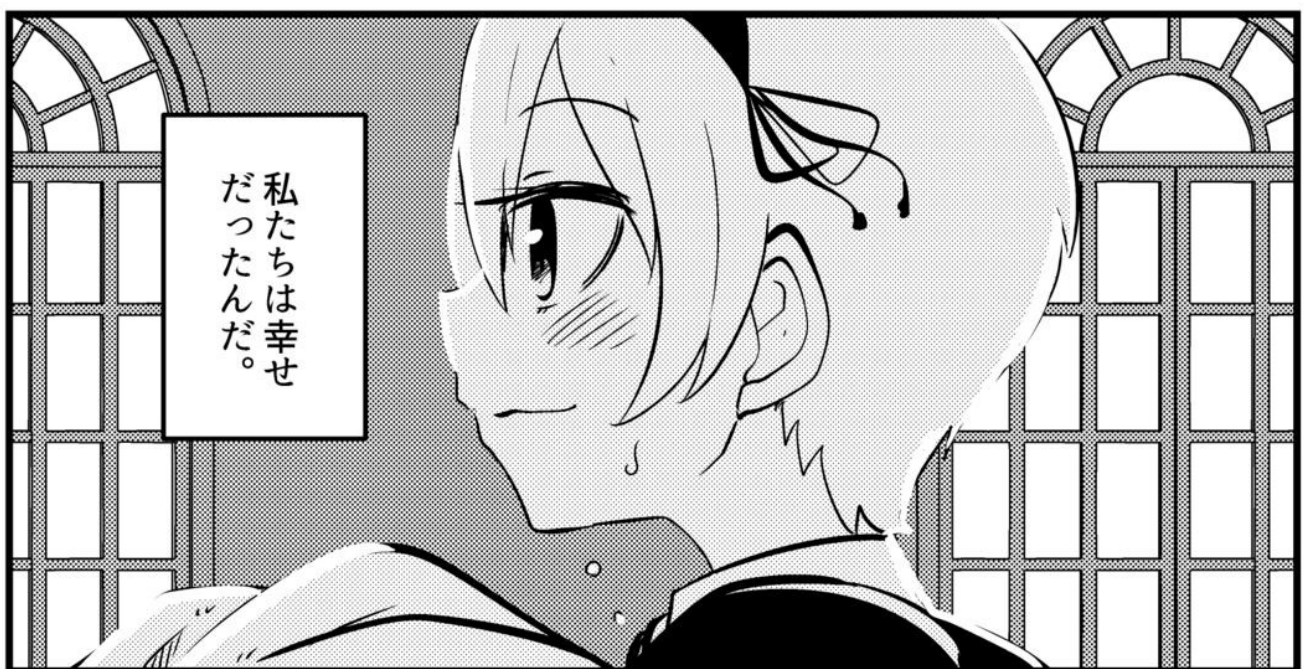


大変ではなかったといえ
ば嘘になる。が…

昔の生活より
確実に
満たされていた。

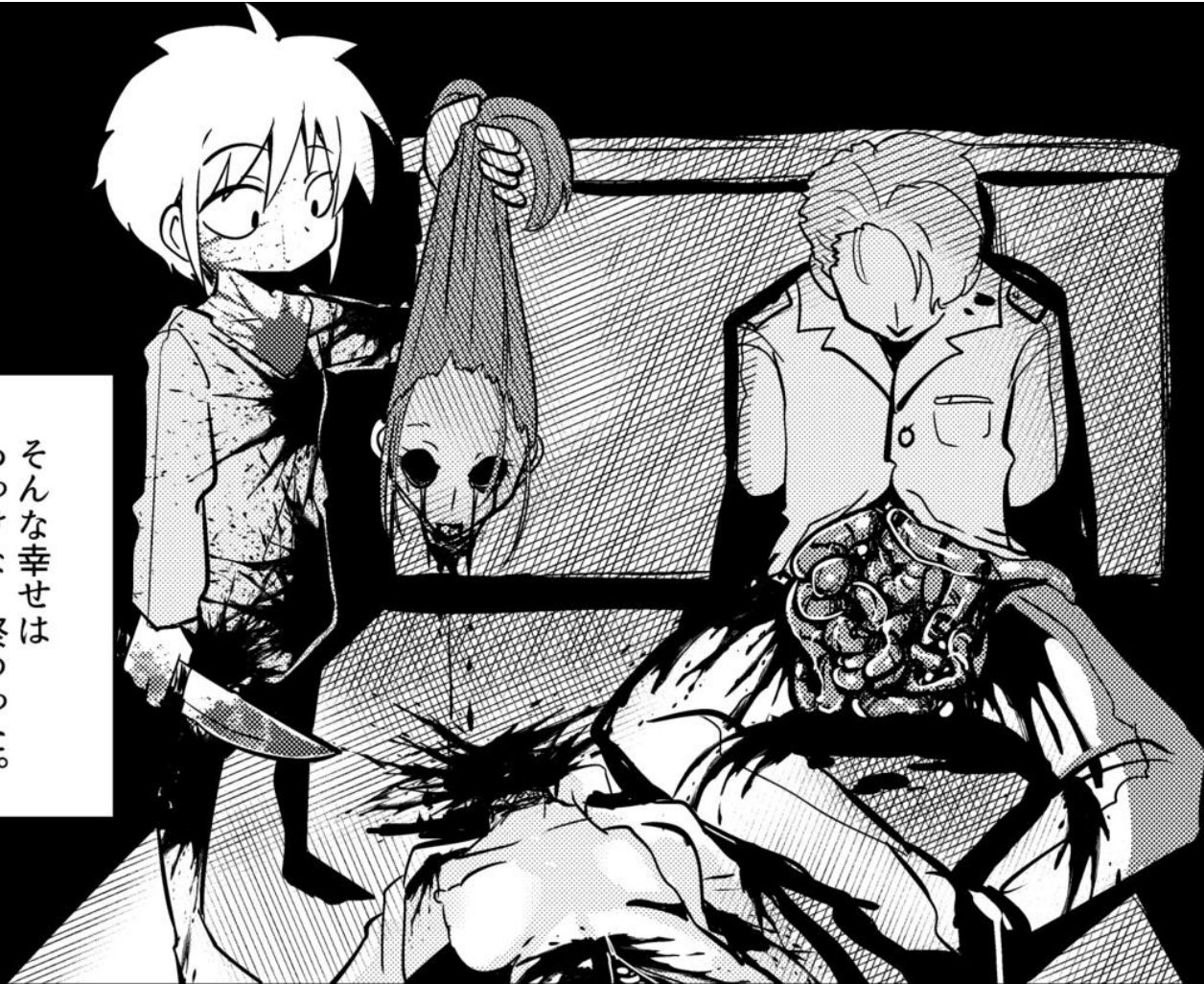
妹たちに
笑顔があつた。

長女
すらべ
州良辺 カズハ



私たちは幸せ
だったんだ。

そんな幸せは
あっけなく終わった。



その捨て奴隷は



どこかへ消えた。

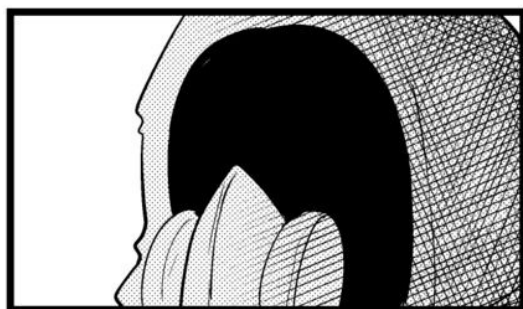
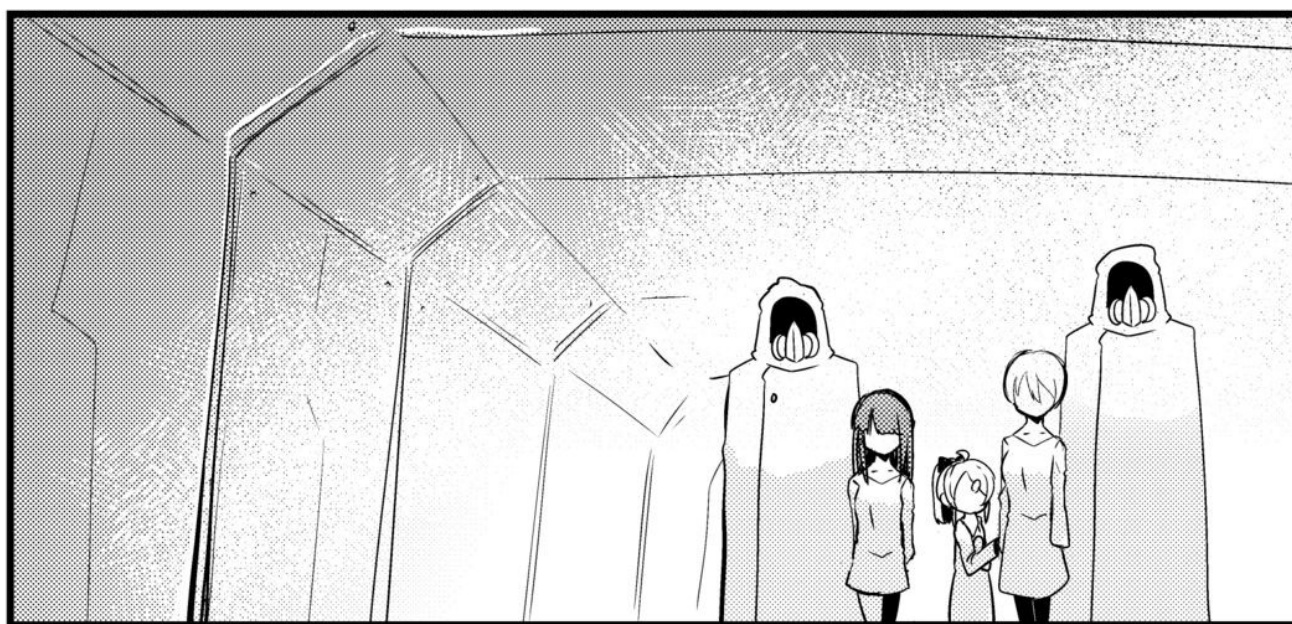


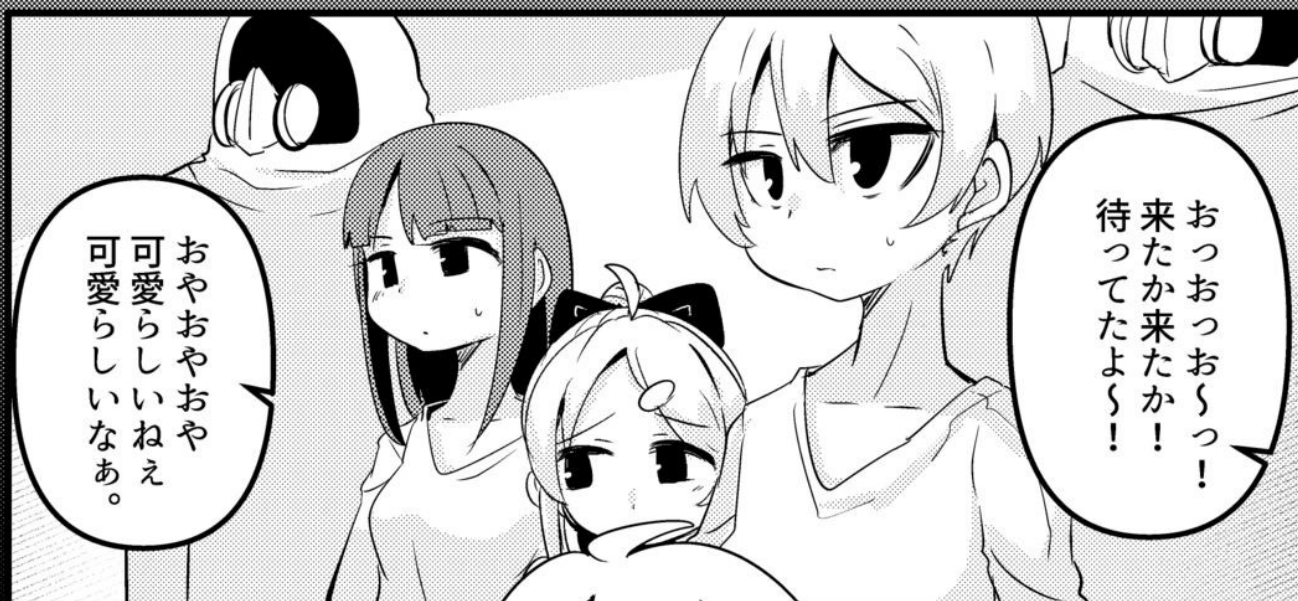
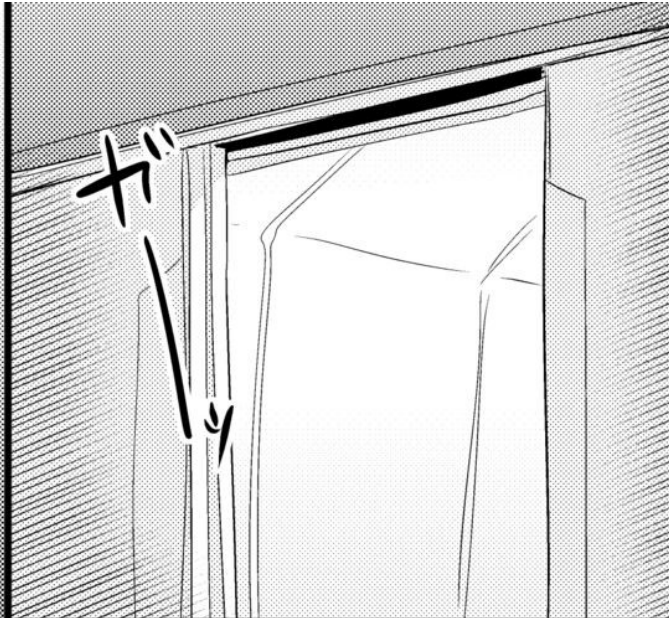
ご夫妻は……
捨てられた奴隷が売られている
市場で保護した女の子に

特に意味もなく殺された。

不幸がまた、始まった。

私たちは
研究者として働く
ご主人さまの妹に
3人ともひきとられた…





研究者
すきやがの
犁屋賀之 まむ



あー
いいいいいよ

私が長女の――



は、はじめまして



…ふむ



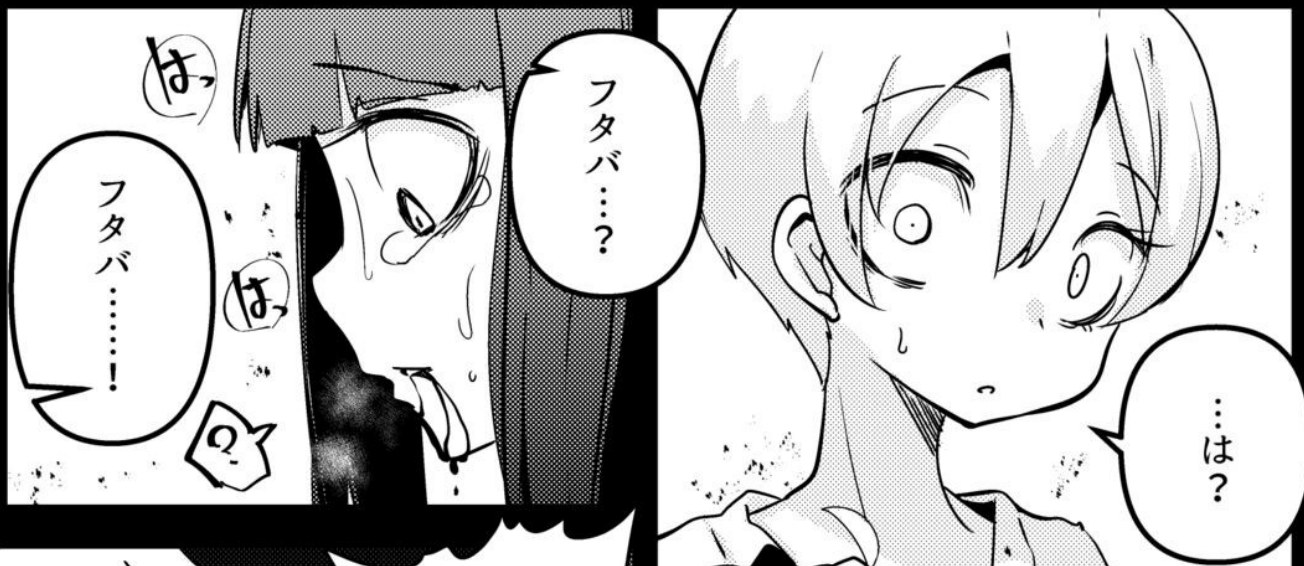
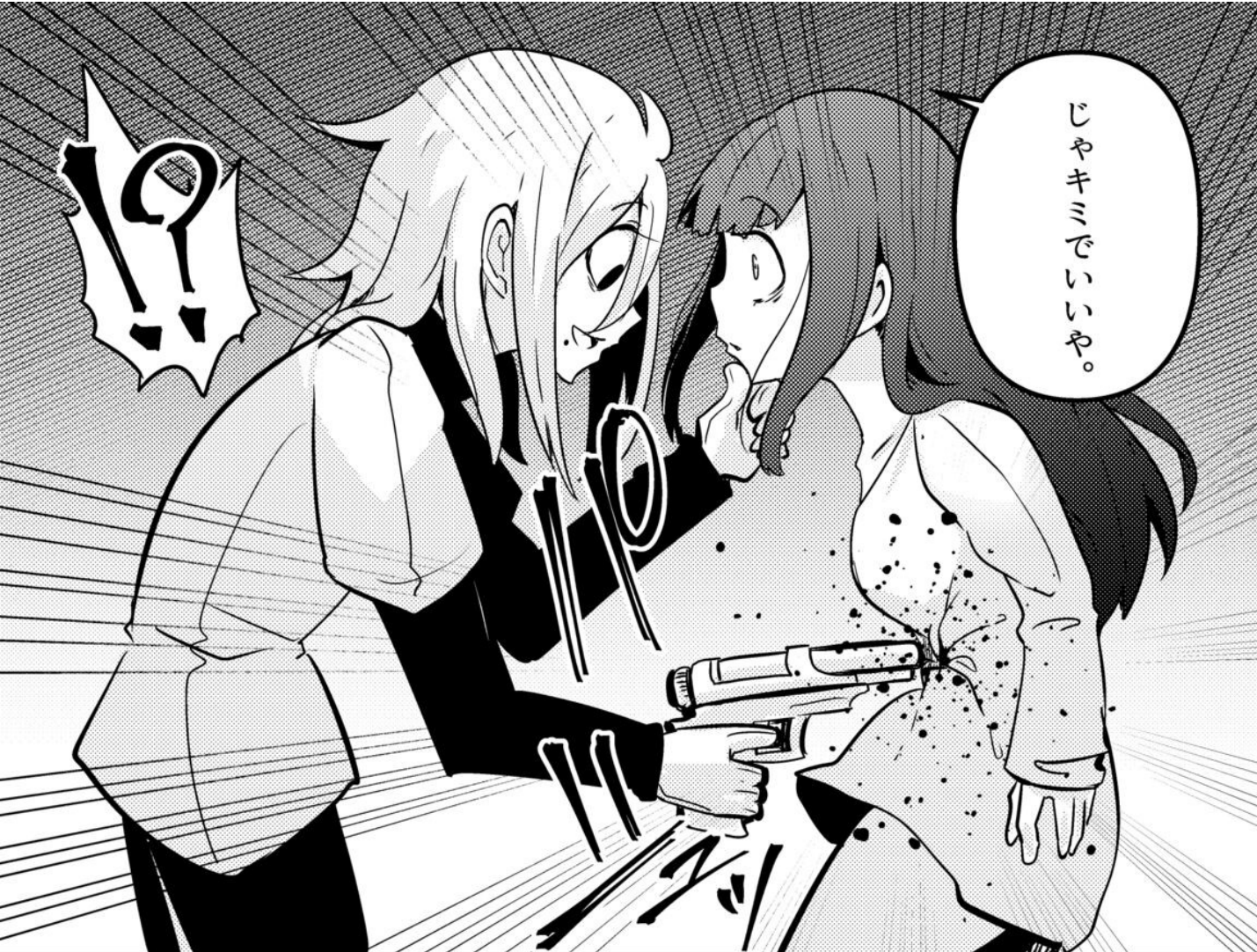
は…はい。

そうですけど……？



次女？

キミ…



さて：
キミたちは知ってるかな？

「女性の体液」を糧とし

「再生能力」を持ち

「スキヤニング」という
「超能力」を持つ

そんな
不思議な生物を。

それはね！

私の
永遠の夢であり
永遠の好奇心：

しょくしゅぞく
触手族だ！！

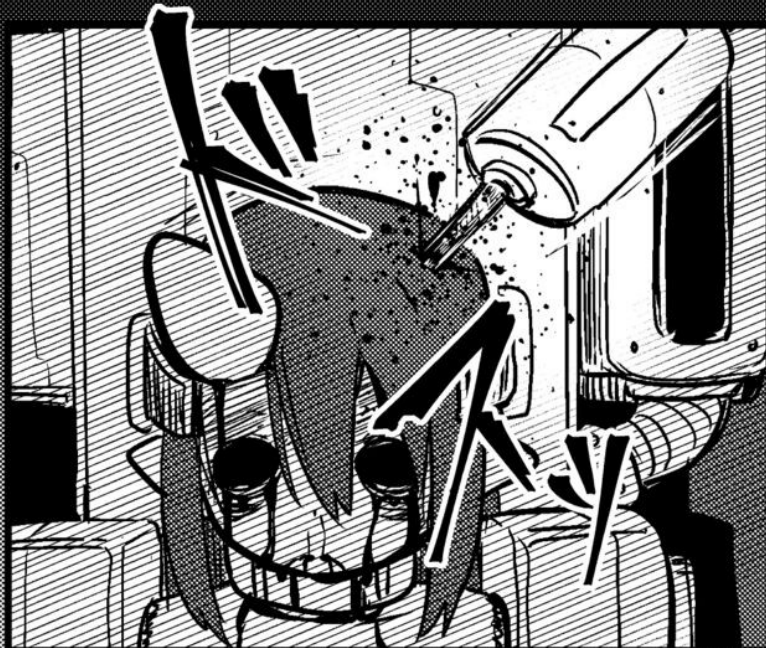
数年前により〜やく
1匹捕まえてねえ

晴れて研究を
始めることが出来たんだ！！

触手族の「再生能力」は
大勢に研究し尽くされて
しまった…

なので私が
目をつけたのは

スキヤニング
超能力…
そして
その移植だ。



君たちが来るまで
沢山の奴隷たちと
この触手ちゃんで
色々な実験をしたよ。

笑っちゃうくらい
いっぱい死んだ。

その結果
分かったのは

触手族の特殊な「脳液」に
大きな可能性があること。

「少女」でなくては
「変化」に耐えられない
ということ……。



血液型も同じ

少女で

血の繋がった
姉妹で



なんと良い条件…
良い素材…
最高だ…最高…
んっ♡

はぁい

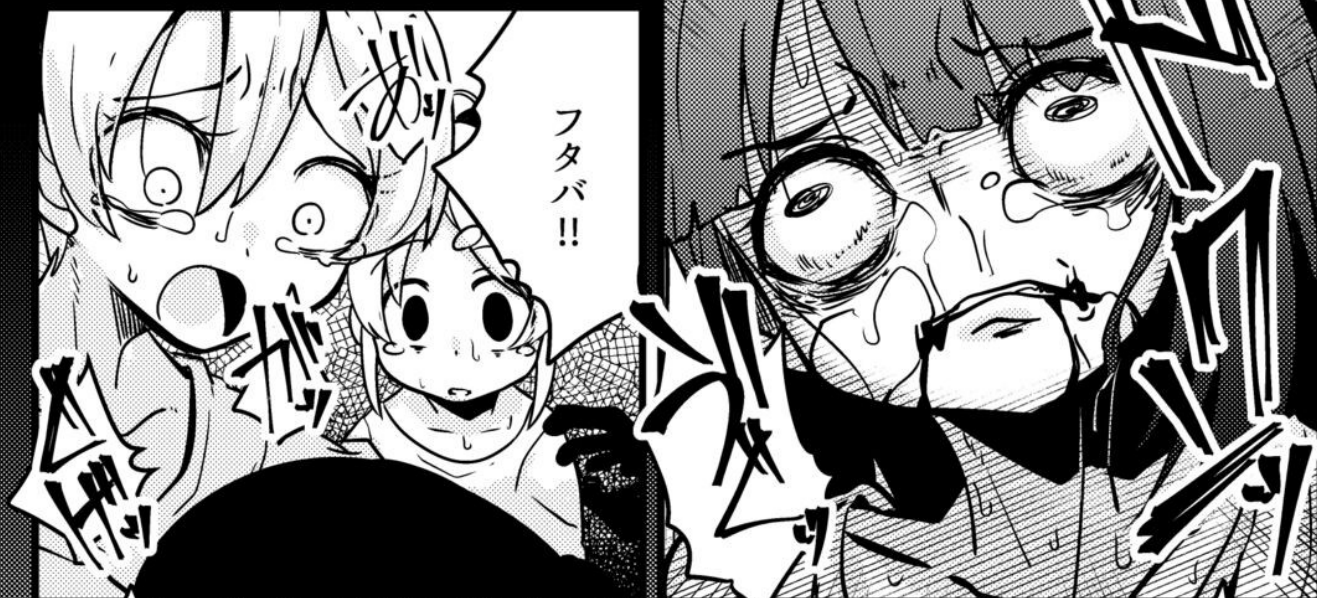
はぁい

くう~~~~~!!
~~~~~!!



キミたちでツ!!  
今度こそツ!!  
実現させてみせるツ!!

「スキヤニングガール」  
の誕生をツ!!



進化への  
第一歩だ!!

さあ!!









そうか、夢だ。

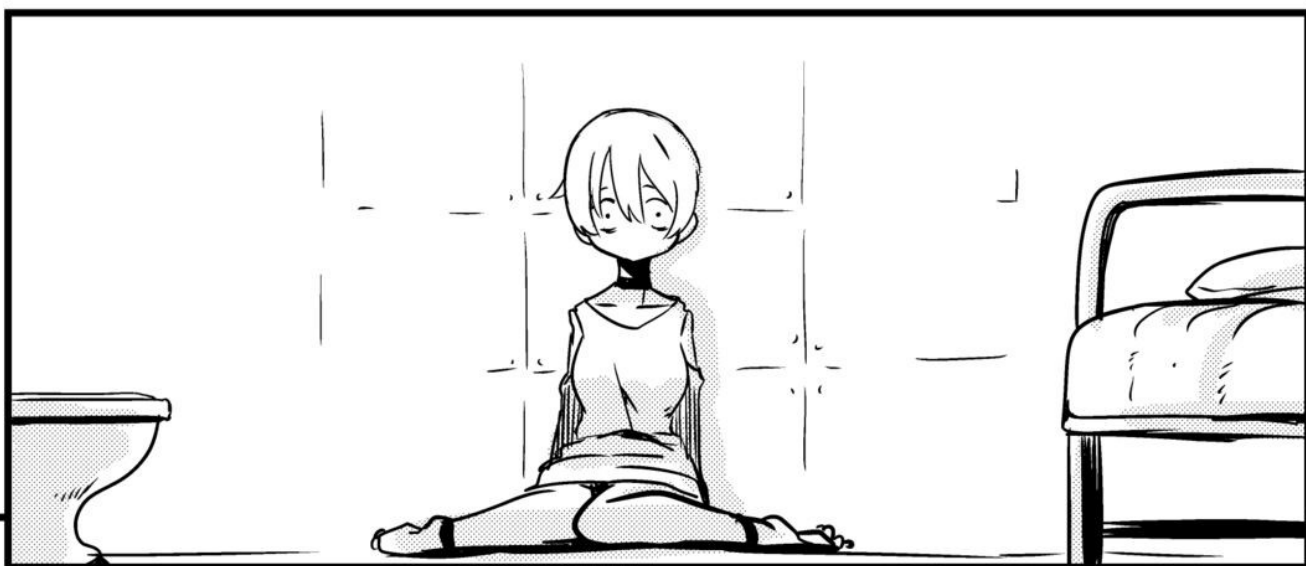


これは夢だ。



これは……





ああ……

夢じゃない。



フタバねえね



ミツバ!!



フタバねえねだよ



ねえね

だいじょうぶ





2日目

フタバは叫び続けた。  
私を呼び続けた。  
助けを求め続けた。

耳をふさいでも  
聞こえてくる。  
やめて。  
やめて。

5日目

奴らは  
フタバの体を  
削ぎ落とし始めた。

再生を繰り返しているらしく  
削ぎ落としでも  
削ぎ落としでも  
フタバは小さくならなかった。

フタバは気持ちの悪い声で  
私に助けを求め続けた。  
私は耳をふさいだ。

15日目

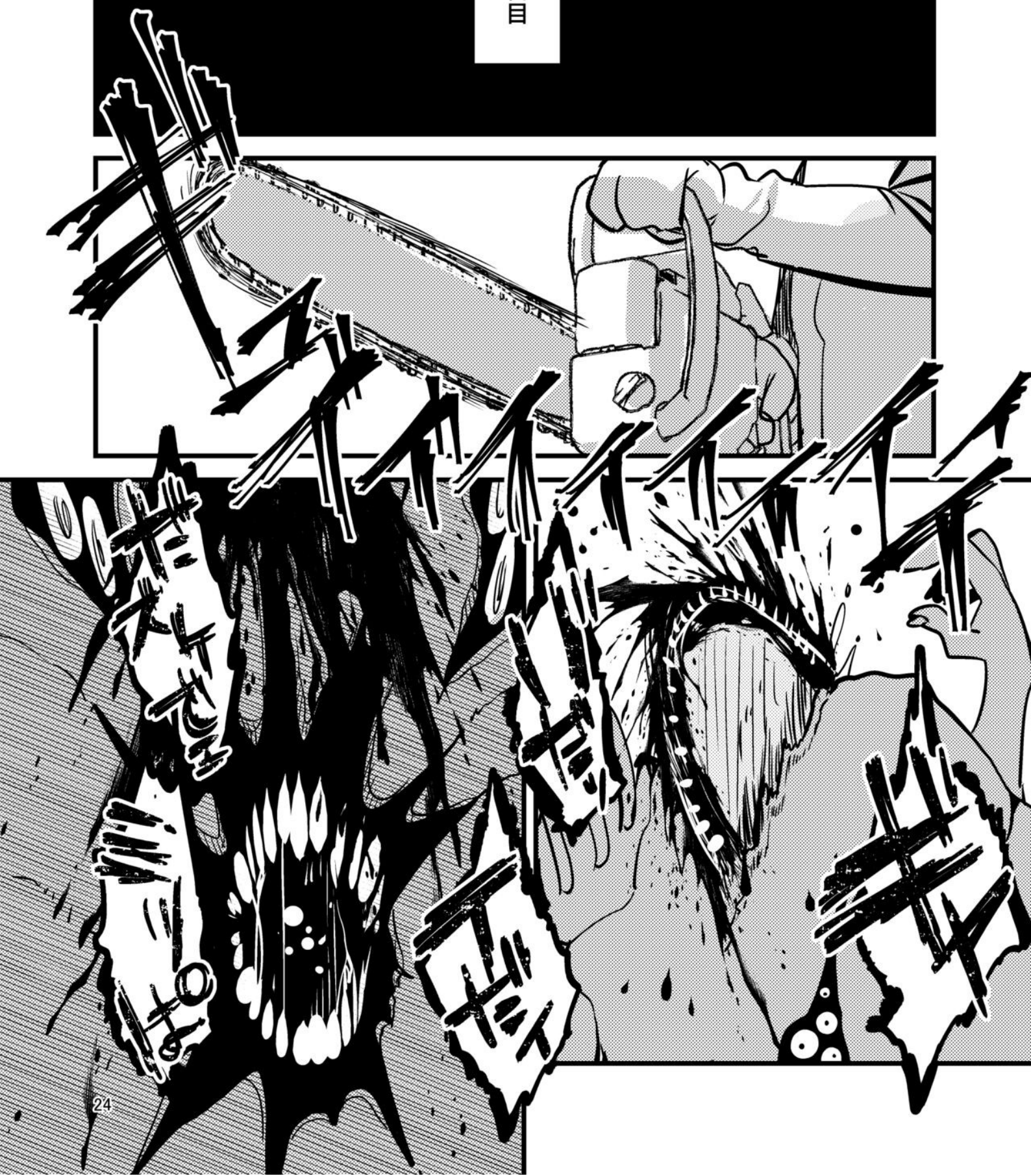
フタバは  
気持ちの悪い声で  
歌っていた。

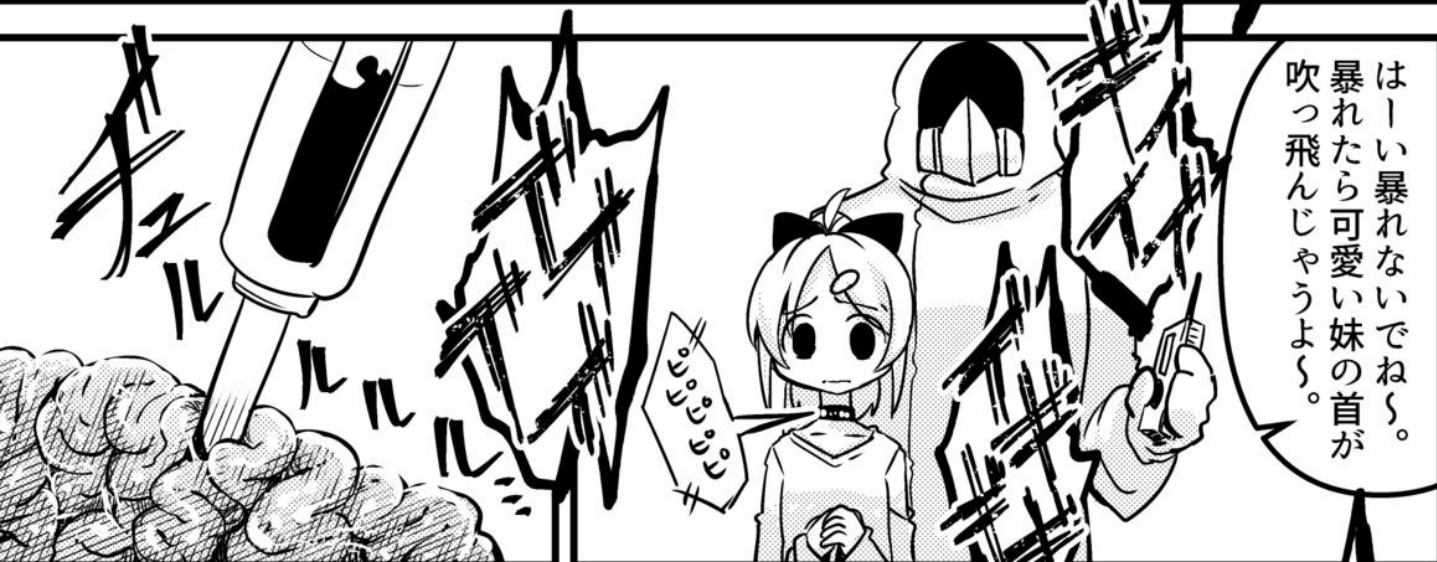
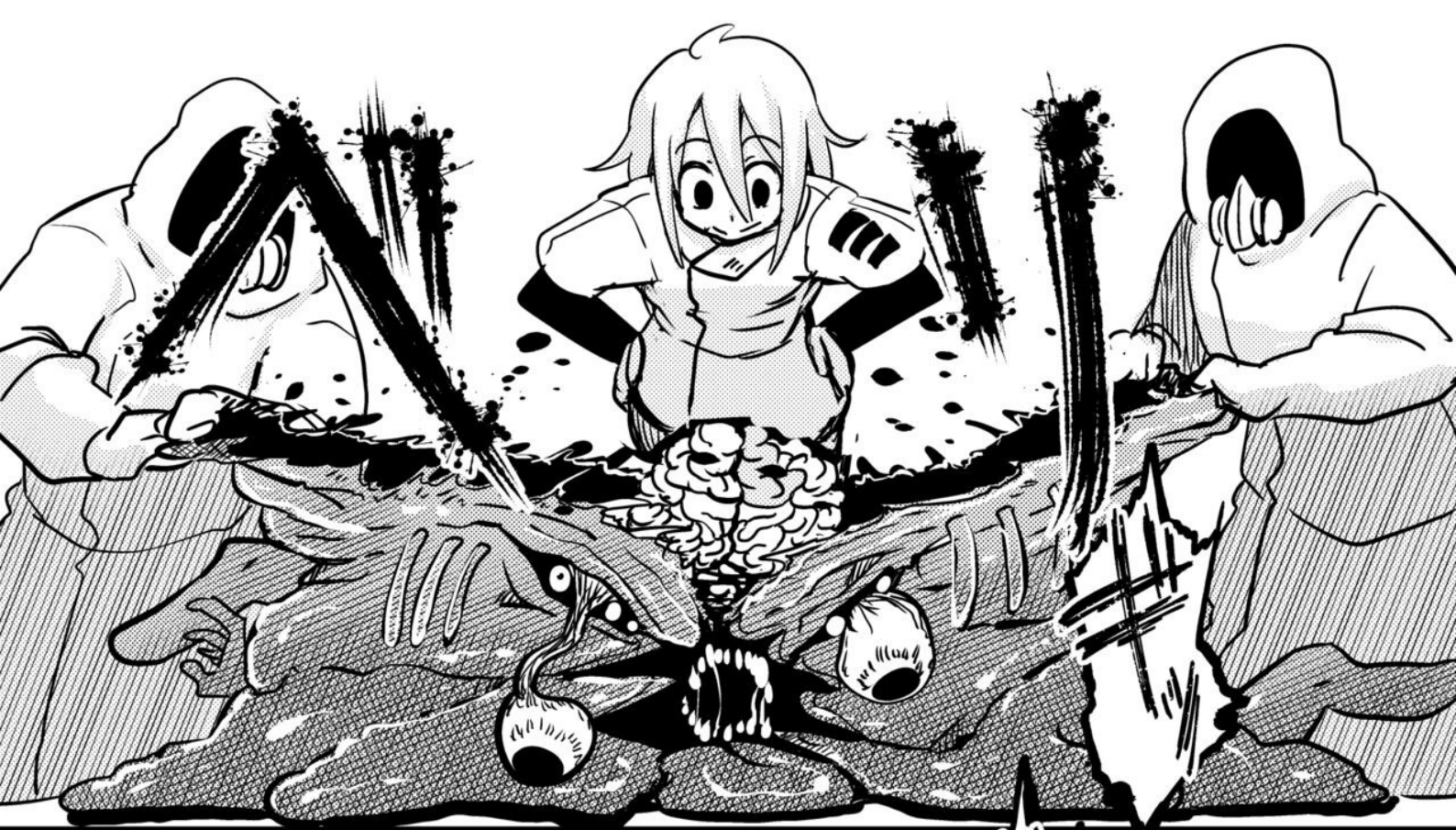
ご主人さまのお屋敷で  
掃除をしているときに  
よく歌っていた歌だ。

私に助けを求めなくなった。

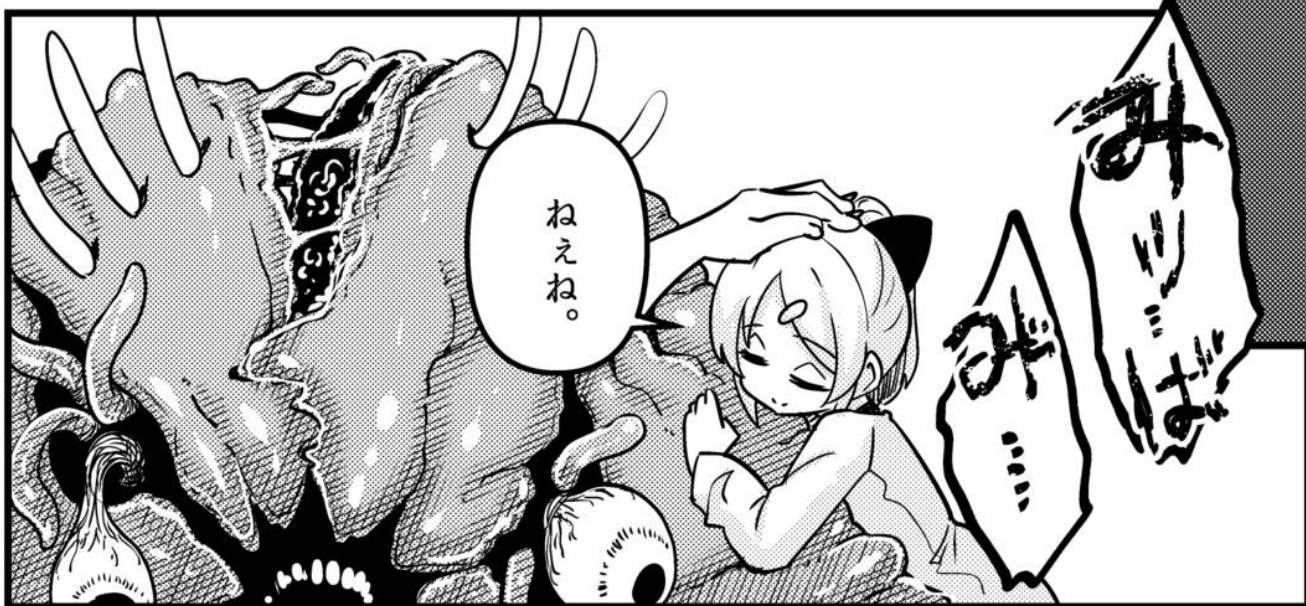


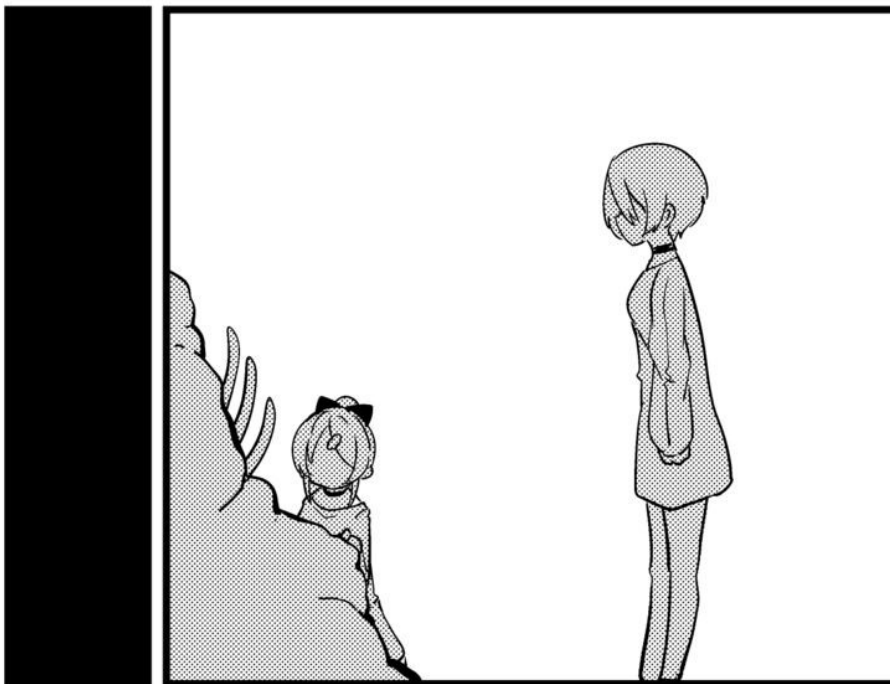
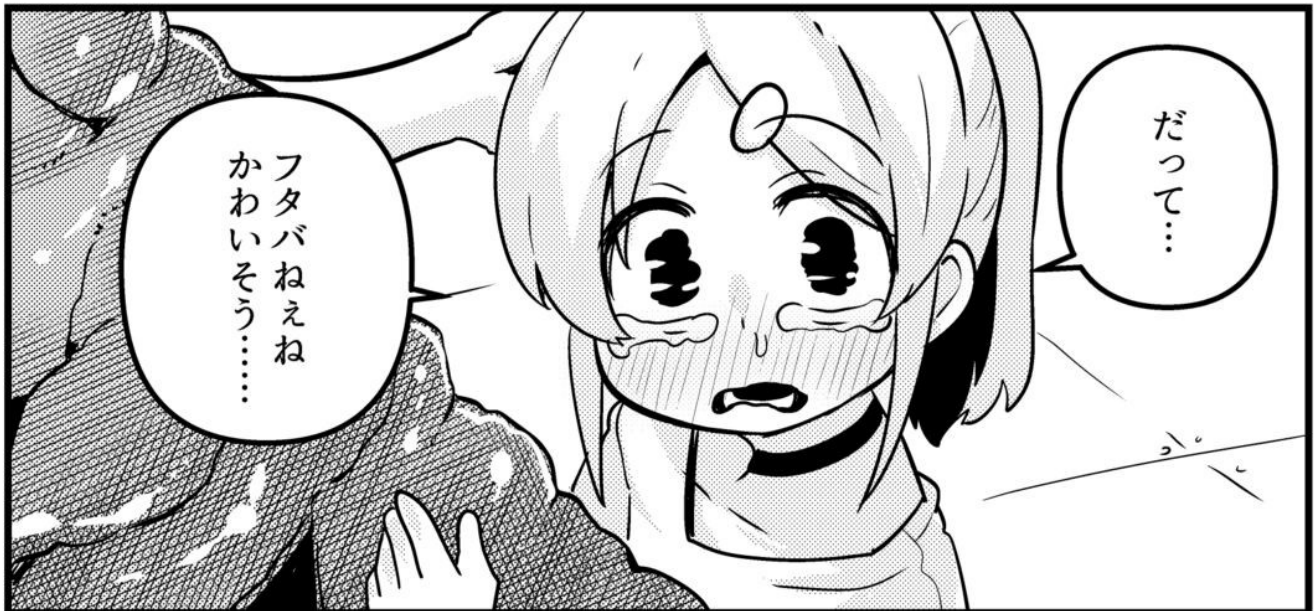
40  
目





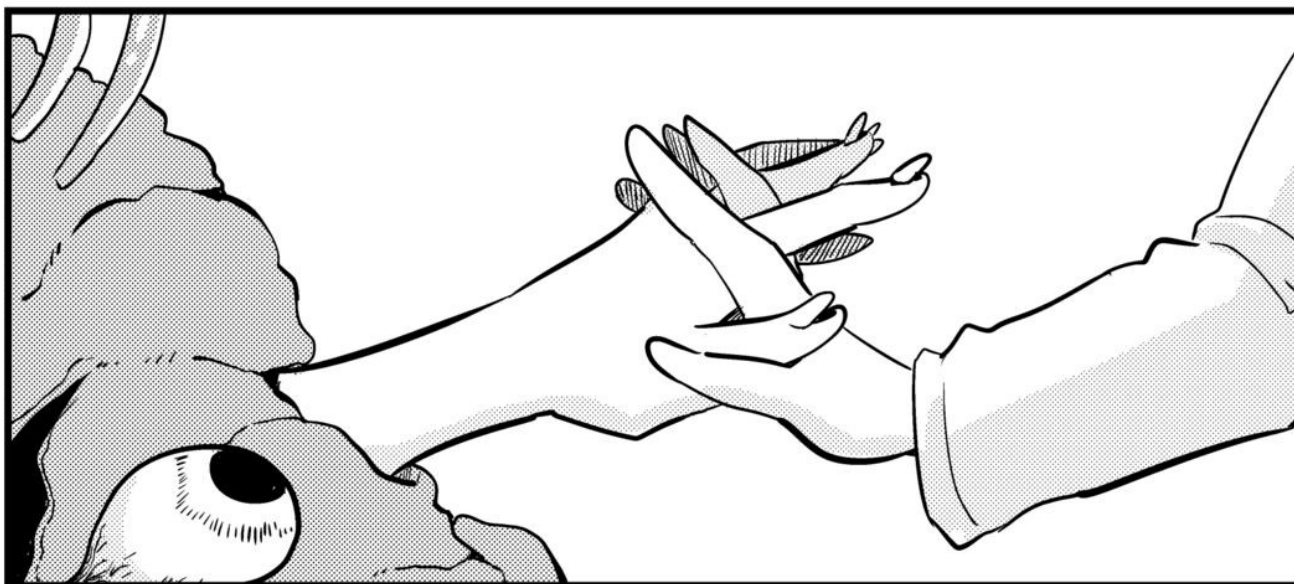


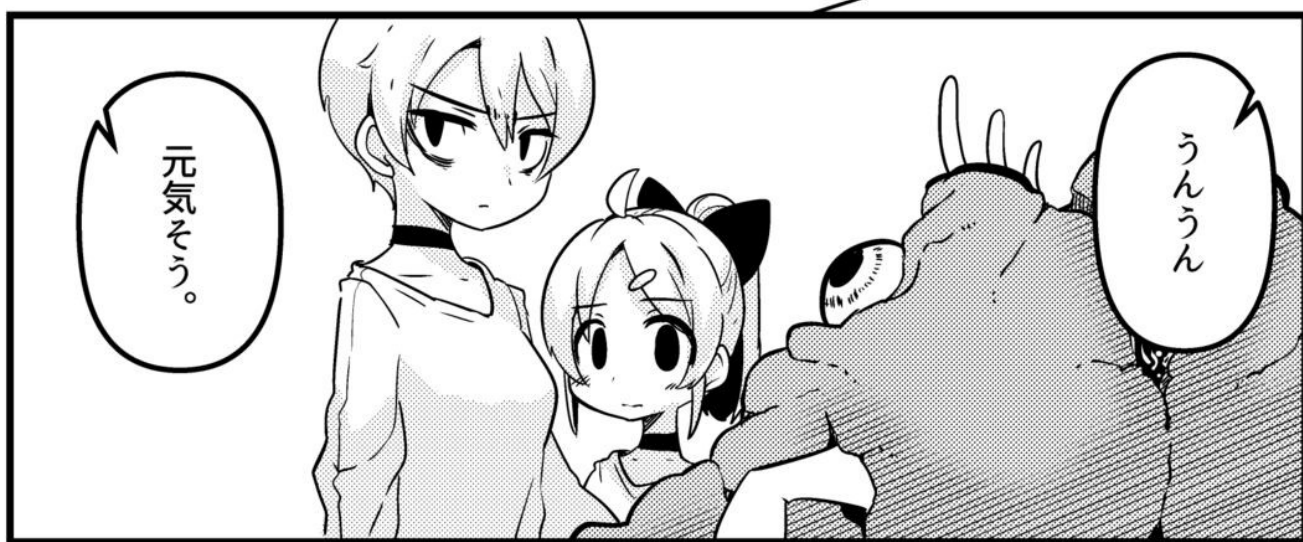






90  
目



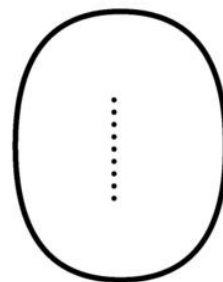








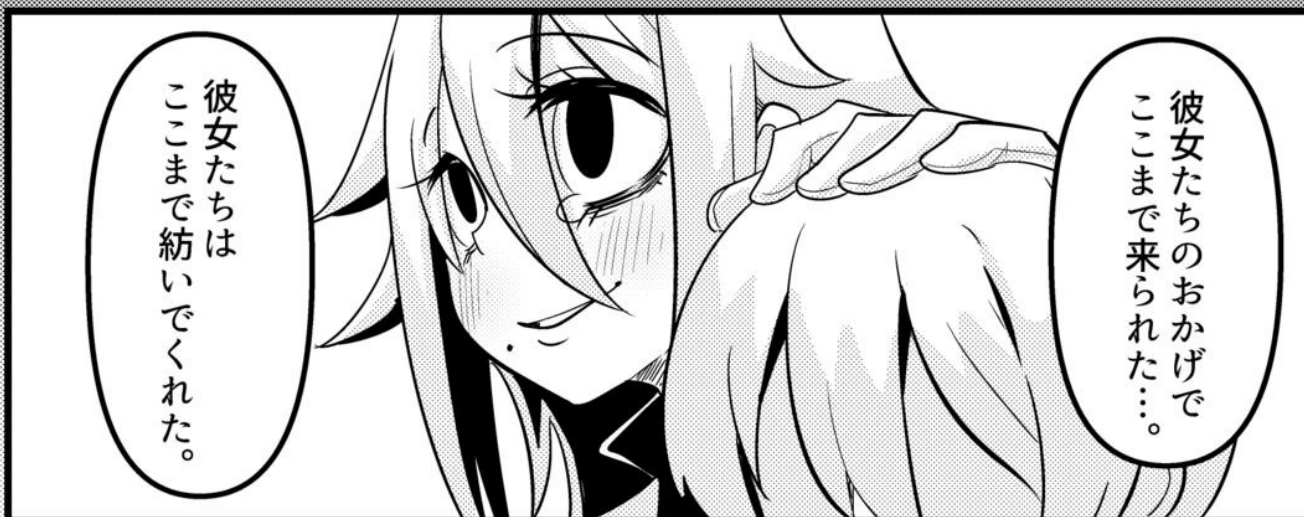
スキヤニングガールに







いや~~~~  
素晴らしい!!

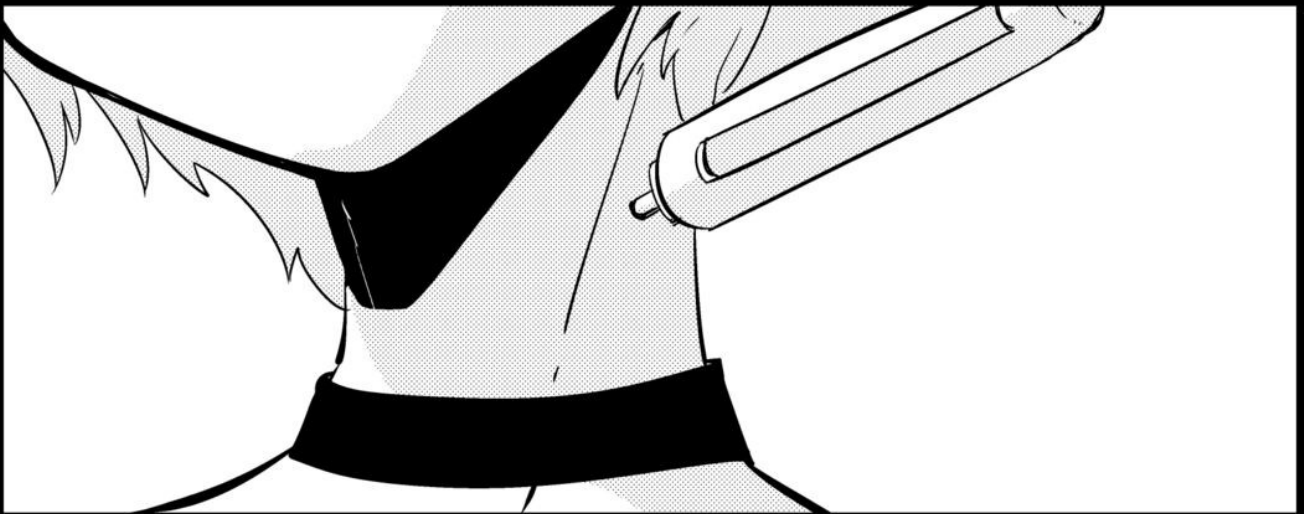
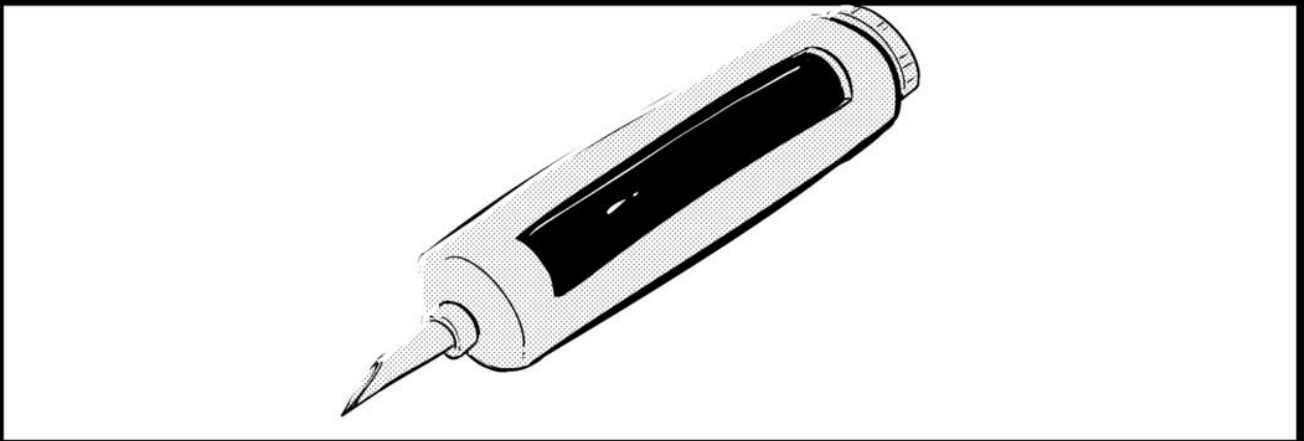












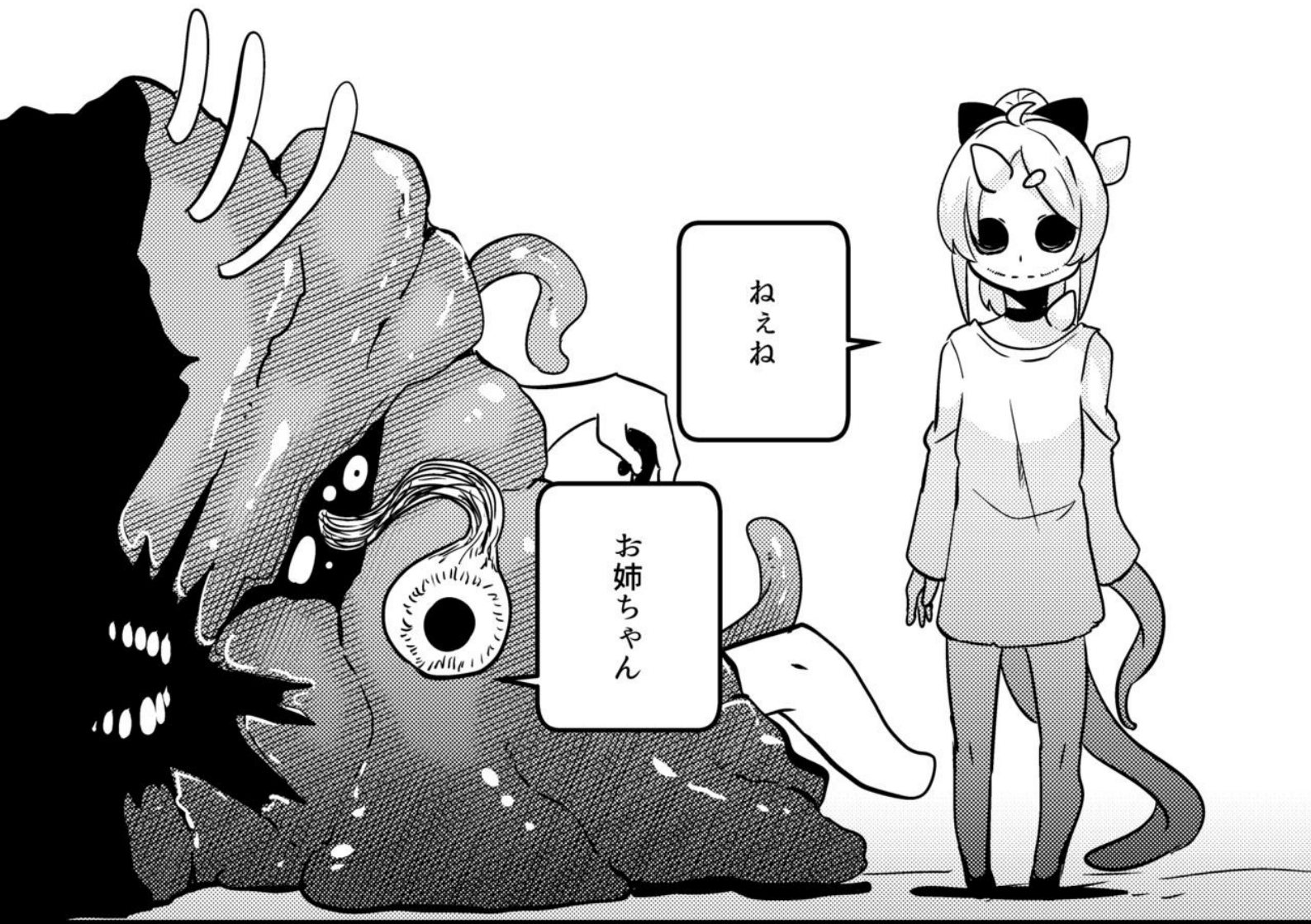
「聞こえる」



「聞こえる」



聞こえる





これが

スキヤニング



ねえね

わたし  
フタバねえねと  
見つけちゃったんだ

スキヤニングの

別の力

そう…  
そして…お姉ちゃんと  
喋れるようになるまで…

ミツバには「使う」のを  
我慢してもらってた。





おねがい……!!

いいや……  
やめて……!!



おもしろい。

……ほんと

でも  
死にたくない時は  
みんな正直なんだ。

みんなこの研究を  
気持ち悪がってるのに  
表では真面目な顔してさ。

死んじゃえよ  
ゴミ





おはよう

スキヤニングガールズ

# あとがき

めっつつちゃくちや難産だった……ひい……。

はじめまして。お久しぶりです。すずのもくです。  
この度はこの本を手にとってくださり、誠にありがとうございます。

前作「ScanningGirls:N1」を頒布してから早一年…  
本当は今年の頭に頒布予定だったものがズルズルと伸び  
この度ようやく頒布することができました…ながかった…。

当初の予定では前半にスキャニングガール達の経緯を描き  
後半に前回の続きを描くつもりだったのですが、結局  
1冊丸々スキャニングガール誕生話になってしまいました。  
次回、ようやく捨て奴隷グループVSスキャニングガールズを  
描くことができそうです。  
怒涛の血みどろ対戦が描けそうで今から楽しみです  
大切に育ててきた子どもたちがグッチャグチャになる姿を思うと  
とても切なく悲しい気持ちになりますね(満面の笑み)

序盤に出てきた触手族ですが、あれは「クルテ」という子です。  
すずのもくの触手漫画「触手売りのクルテ」のメインキャラです。  
もともとこの漫画を今年の頭に出す予定だったのに  
触手売りのクルテ最終回頒布直後にこの本も頒布されるので  
タイミング的にめっちゃ無慈悲な感じになってしまいました。へへへ。

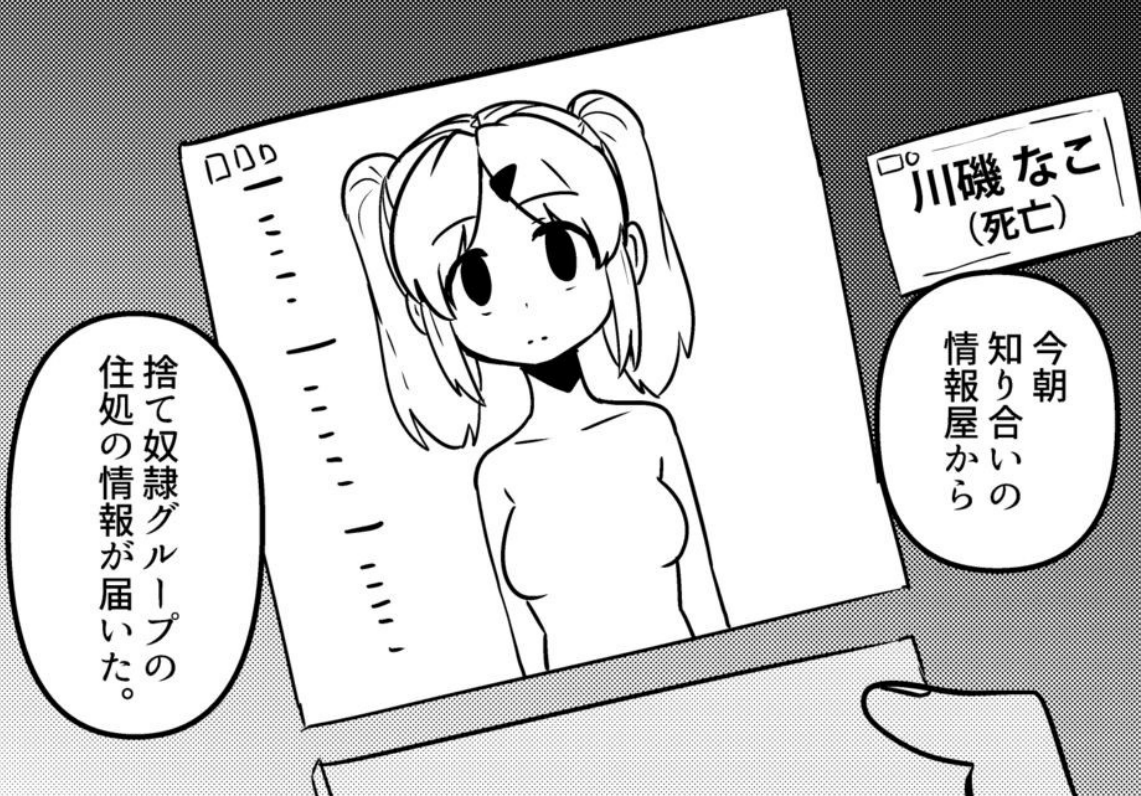
次回は2021年3月7日開催予定の「56けっと4」に当選したら  
そちらで頒布予定です。  
もう来年の話題でちゃう時期になったの…？こわ……。

それでは！

ミツバは  
かわいいね。

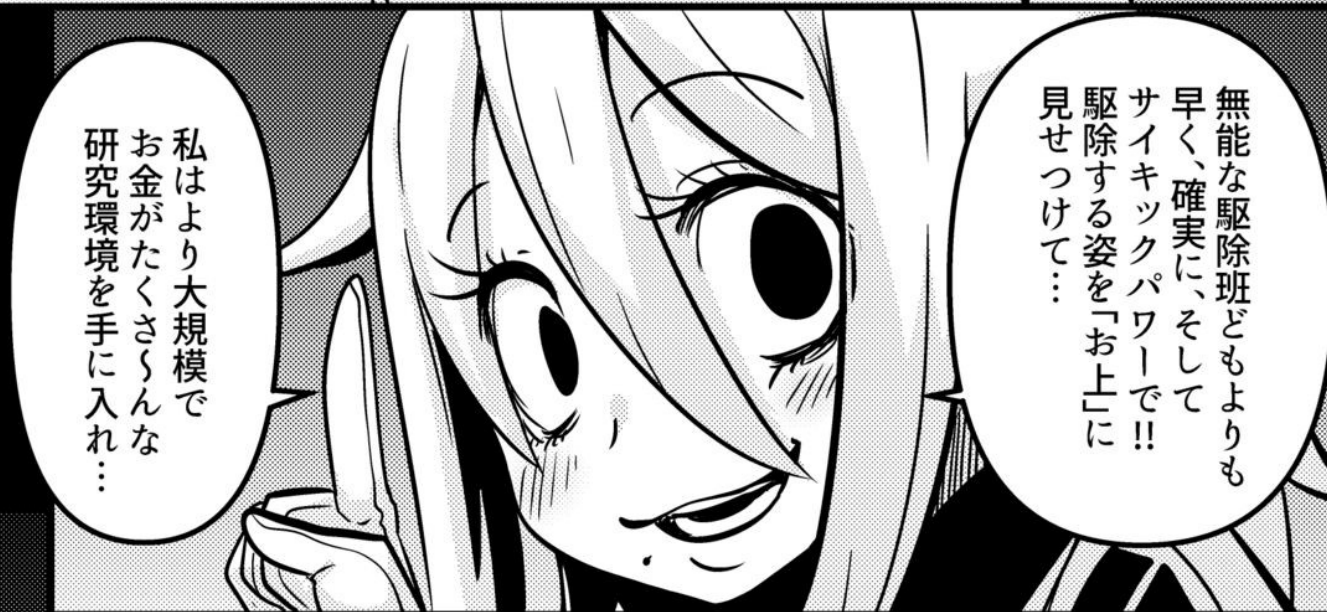






捨て奴隷グループの  
住処の情報が届いた。

今朝  
知り合いの  
情報屋から



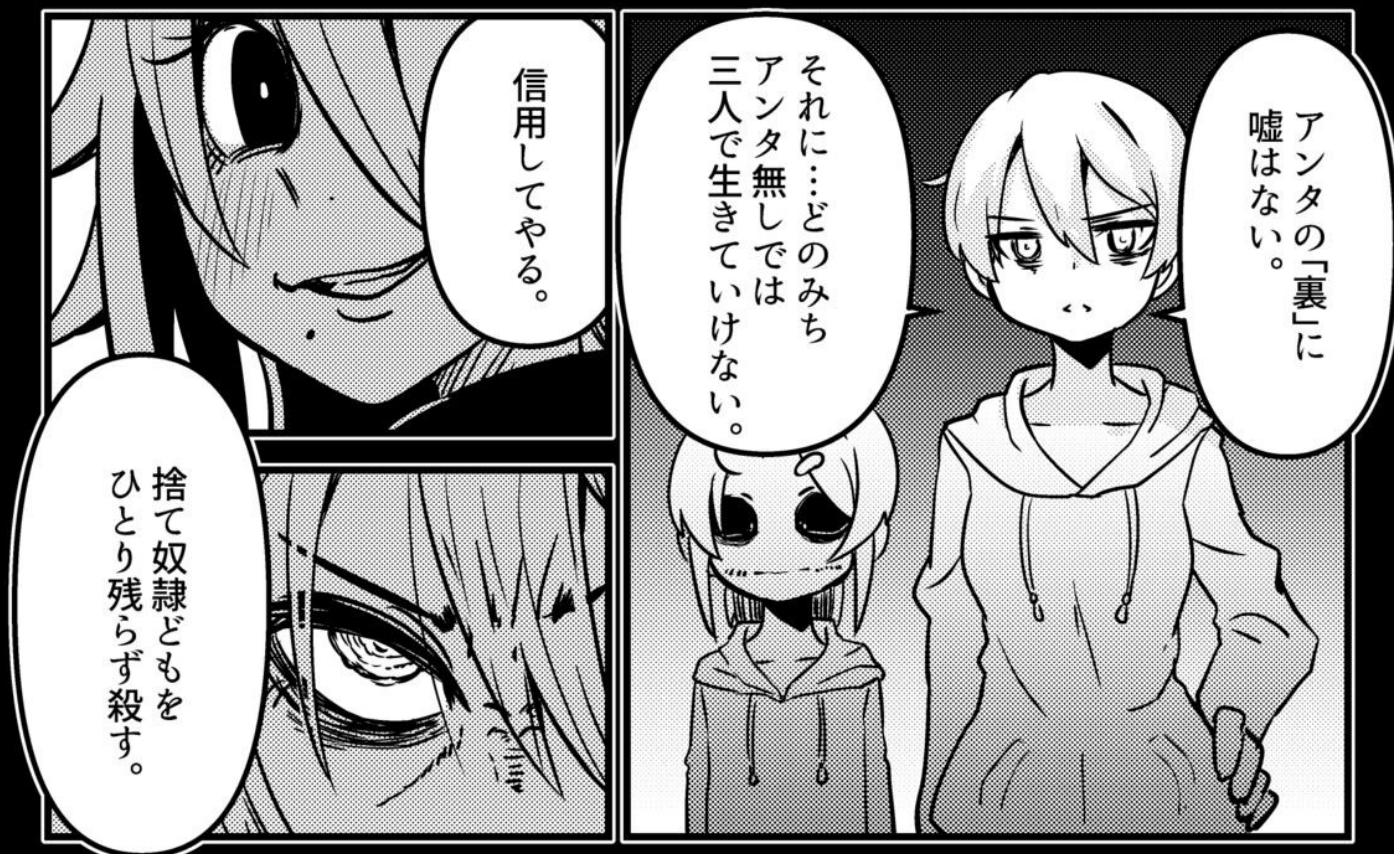
私はより大規模で  
お金がたくさんな  
研究環境を手に入れ…

無能な駆除班どもよりも  
早く、確実に、そして  
サイキックパワーで!!  
駆除する姿を「お上」に  
見せつけて…



それが私たちの  
次のステップだ!!

カズハ、ミツバ  
そしてフタバも  
快適な生活を送る権利を  
得る…



今度こそ…

幸せを…



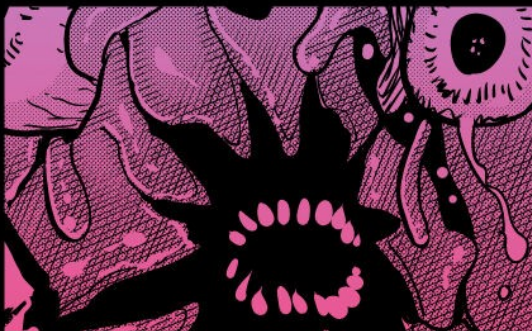
## 奥付

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 誌名      | ScanningGirls:N2     |
| 発行日     | 2020/10/10           |
| 発行サークル  | すずぽに                 |
| 発行者     | すずのもく                |
| Twitter | @suzunomoku          |
| Mail    | ss.harknel@gmail.com |

|    |             |
|----|-------------|
| 印刷 | 同人印刷きゅお〜ん 様 |
|----|-------------|

# 不幸がまた、始まった。

国へ奴隷として売られてしまった三姉妹の  
カズハ・フタバ・ミツバ…  
買われた先で幸せな日々を送るのも束の間  
飼主が殺され、三姉妹は飼主の妹の  
研究施設へと送られる…。  
三姉妹の地獄と進化の幕開けだった。



## スキャンニングガール誕生の物語



### ●「ScanningGirls:01」続編！

前作ラストで登場した  
スキャンニングガールたち……  
何故、触手族のみが持つ能力を  
彼女たちも持っているのか…？  
彼女たちはどこから来たのか…？

その秘密が今、明かされる!!